

第3回 FD/SD研修

実験・実習 における 配慮の基本

見逃し配信

参加無料・要申込

高等教育機関の教職員 対象

10月26日(月) ~ 11月26日(木)

実験・実習ならではの教育目標や安全管理と、
合理的配慮の両立に悩む教職員の方々へ。

本研修では、実験・実習科目における配慮のポイントを
ご紹介いただきます。教育の質や安全性を維持しつつ、
一人ひとりの学びをどのように支えるか考えましょう。

講師

船越 高樹氏

信州大学

教育・学生支援機構学生総合支援センター
障害学生支援室長・准教授

不登校対応の中学校（現学びの多様化校）の開学に携わり、生徒指導主事、教頭を務める。岐阜大学の障害学生支援体制作りに取り組み、京都大学 学生支援センター障害学生支援ルーム 特定准教授として着任。同センターでの『高等教育アクセシビリティプラットフォーム（HEAP）』形成事業にてチーフコーディネーターを務める。国立高等専門学校機構本部 特任准教授、学生参事補、障害学生支援スーパーバイザー、筑波大学ヒューマンエンパワーメント推進局 准教授を経て現職。著書に『生きづらさへの処方箋』、『大学生のためのセーフティネット-学生生活支援を考える-』など。

申込

11/26
〆切

QRコードまたはURLから

<https://forms.cloud.microsoft/r/Yxkj4XHA9Y>

※こちらは9月10日に実施した研修会の録画配信です。
字幕・手話通訳があります。

